

第四回館山市議定会定例会會議錄（第二号）

昭和四十四年十二月招集

第四回館山市議会定例会会議録（第二号） 目次

日	時	三
場	所	三
出席議員		三
欠席議員		四
出席説明員		四
出席事務局職員		六
議事日程		六
開議		八
議案の上程（認定第一号、認定第七号）		八
動議		九
決算審査特別委員会の設置及び委員の選任		九
議案の上程（議案第七十一号）		一

採決	議案の上程(議案第七十二号)	一一
採決	議案の上程(議案第七十三号)	一二
採決	議案の上程(議案第七十四号)	一三
質疑応答		一四
採決	議案の上程(議案第七十五号)	一七
採決	議案の上程(議案第七十六号)	一八
採決	議案の上程(議案第七十七号)	一九
採決	議案の上程(議案第七十八号、議案第八十二号)	二〇
採決		二一
閉会	今日の会議に付した事件	二二

第四回館山市議定会例会會議錄（第二号）

昭和四十四年十二月招集

一、昭和四十四年十二月十七日（水曜日）午前十時

一、館山市議定会例會議場

一、出席議員 二十二名

一番	吉田勇治郎	三番	嶋田石蔵
四番	伊賀多朗	五番	藤田益治
六番	磯辺博	七番	白熊盛太郎
八番	黒川正	九番	三幣勇
一〇番	西村真次	一五番	石井正
一六番	五十嵐昇	一七番	江田徳太郎
一八番	安西益男	一九番	島野茂樹郎
二〇番	中村省吾	二二番	小沢恵太郎
二三番	飯田義男	二四番	田中祿郎
二五番	田村源治郎	二七番	安沢徳順

二八番 望月 照正

二九番 鈴木 市藏

一、欠席議員 六名

二番 石井 輝久

一番 菊井 敏博

一二番 小柴 孝

一四番 遠山 日永子

二六番 秋山 六三郎

三〇番 山口 康

一、出席説明員

市長 本間

讓

助役 畠山

伝

収入役 高木

哲三

秘書課長 太田

博雄

人事課長 小沢

正治

企画課長 伊藤

幸太郎

庶務課長 小倉

澄男

財政課長 長谷川

広治

市民課長 山口

実

調査課長 石渡

東

収納課長 横溝

功

農産課長 石井

謀

水産課長	商工観光課長	土木課長	建築課長	衛生施設課長	保健衛生課長	福祉事務所長	市民センター館長	診療所事務長	消防事務長	消防本部次長	教育長	教育委員 庶務課長補佐	教育委員 学校教育部長	教育委員 保健体育課長	教育委員 社会教育部長	選挙管理委員会 書記長	
谷 貝	山 田	飯 田	池 田	大 嶋	網 島	斉 藤	羽 山	吉 岡	星 野	岩 田	高 木	黒 川	遠 藤	川 上	小 宮	鈴 木	
茂	俊	治	春	重	憲	武	房	政	清			芳	一	賢	義		
生	康	男	雄	義	治	男	雄	雄	助	実	正	郎	郎	郎	爾	夫	力

監査委員 石原 斉
 事務局長 岩崎 一郎
 農業委員 会
 事務局 長

一、出席事務局職員

事務局 長 高梨 清 一
 事務局 長補佐 高尾 清 一
 書 記 兵藤 恭 一
 書 記 錦織 睦 子
 書 記 渡辺 弘
 書 記 庄司 徹
 書 記 木高 松 雄

一、議事日程(第二号)

昭和四十四年十二月十七日午前十時開議

認定第一号 昭和四十三年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について

認定第二号 昭和四十三年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第三号 昭和四十三年度館山市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第四号 昭和四十三年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第五号 昭和四十三年度館山市休養施設特別会計歳入歳出決算の認定について

日程 第一

認定第六号 昭和四十三年度館山市館山ユースホテル特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第七号 昭和四十三年度館山市南部簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第二 議案第七十一号 館山市漁業近代化資金利子補給条例の制定について

日程第三 議案第七十二号 館山市農村協同館の設置及び管理に関する条例の制定について

日程第四 議案第七十三号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について

日程第五 議案第七十四号 館山市附属機関設置条例等の一部を改正する条例の制定について

日程第六 議案第七十五号 市道路線の変更について

日程第七 議案第七十六号 損害賠償の額を定めることについて

日程第八 議案第七十七号 昭和四十四年度館山市一般会計補正予算（第五号）

議案第七十八号 昭和四十四年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第二号）

議案第七十九号 昭和四十四年度館山市簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）

日程第九 議案第八十号 昭和四十四年度館山市と畜場特別会計補正予算（第一号）

議案第八十一号 昭和四十四年度館山市休養施設特別会計補正予算（第二号）

議案第八十二号 昭和四十四年度館山市館山ユースホテル特別会計補正予算（第二号）

開 議

午前十時十五分 開 議

- 議長 (西村真次君) 本日の出席議員数二十一名、これより第四回市議会定例会第二日の会議を開会いたします。
本日の議事はお手もとに配付の日程表により行ないます。

議 案 の 上 程

- 議長 (西村真次君) 日程第一、認定第一号乃至第七号昭和四十三年度一般会計並びに特別会計決算書を一括して議題といたします。

- 認定第一号 昭和四十三年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第二号 昭和四十三年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第三号 昭和四十三年度館山市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第四号 昭和四十三年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第五号 昭和四十三年度館山市休養施設特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第六号 昭和四十三年度館山市館山ユース・ホテル特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第七号 昭和四十三年度館山市南部簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○ 議長

(西村真次君)

この際申し上げます。本日の日程の各議案の説明は先日の会議のうちに終つておりますので、本日は直ちに質疑より行ないます。

これより認定第一号乃至第七号を一括して質疑を行ないます。なお発言のおりはページをお示しくくださるよう、お願いいたします。御質疑ございませんか。

動

議

○ 二五番

(田村源治郎君)

この際動議を提出したいと思ひます。

ただいま議題となつております認定第一号乃至第七号昭和四十三年度一般会計並びに特別会計決算書の審査につきまして、きわめて慎重を要する案件でありますので、決算審査特別委員会を設置し、なお審査に相当の日時を要するかと存じますので、この期間を三月定例会までとし、審査を付託されますよう、ここに議会運営協議会を代表いたしまして議事進行の動議を提出いたす次第であります。なお委員の数は十名といたしまして、選任の方法は議長、監査委員を除いて任期中全員が決算委員に選任されますよう配慮し、議長の指名によつて選任していただきたいと存する次第でございます。以上申し上げまして、満場の御賛成を得たくここにお願ひいたします。

決算審査特別委員会の設置及び委員の選任

○議長（西村真次君） ただいま二五番議員君より提出されました議事進行の動議を議題といたします。

本動議は、認定第一号乃至第七号の質疑はこの辺で打ち切り、なお慎重審査の必要上特別委員会を設置し、これに付議し、閉会中審査の特別付託をいたしたいということであります。

おはかりいたします。この動議に御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（西村真次君） 御異議なしと認めます。よつて決しました。

重ねておはかりいたします。本動議によりますと、委員の数は十名、選任の方法は前例にならい選考し、議長の指名によられたいということであります。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（西村真次君） 御異議なしと認めます。よつて決定いたしました。

これより決算審査特別委員会の委員を指名いたします。

一番議員	吉田勇治郎君	三番議員	嶋田石蔵君
五番議員	藤田益治君	七番議員	白熊盛太郎君
九番議員	三幣勇君	一六番議員	五十嵐昇君
二〇番議員	中村省吾君	二四番議員	田中祿郎君
八番議員	黒川正君	二九番議員	鈴木市蔵君

以上十名を決算審査特別委員会の委員に指名いたします。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて決しました。

ただいま選任されました決算審査特別委員会に認定第一号乃至第七号昭和四十三年度一般会計並びに特別会計決算書を一括して付託し、閉会中の継続審査に付議いたしますことに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて決しました。ただいま選任されました委員の方は本日中に正副委員長を互選されまして、御報告くださるようお願いいたします。

議案の上程

○ 議長 (西村真次君) 日程第二、議案第七十一号館山市漁業近代化資金利子補給条例の制定についてを議題といたします。

議案第七十一号 館山市漁業近代化資金利子補給条例の制定について

○ 議長 (西村真次君) 御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

採決

○議長 (西村真次君) おはかりいたします。本案を討論省略採決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。

おはかりいたします。本案を原案の通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案の通り可決されました。

議案の上程

○議長 (西村真次君) 日程第三、議案第七十二号館山市農村協同館の設置及び管理に関する条例の制定についてを議題といたします。

議案第七十二号 館山市農村協同館の設置及び管理に関する条例の制定について

○議長 (西村真次君) 御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

採決

○ 議長 (西村真次君) おはかりいたします。本案を討論省略採決するに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。

おはかりいたします。本案を原案の通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案の通り可決されました。

議案の上程

○ 議長 (西村真次君) 日程第四、議案第七十三号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

議案第七十三号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について

○ 議長 (西村真次君) 御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

採決

○ 議長 (西村真次君) おはかりいたします。本案を討論省略採決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。

おはかりいたします。本案を原案の通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案の通り可決されました。

議案の上程

○ 議長 (西村真次君) 日程第五、議案第七十四号館山市附属機関設置条例等の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

議案第七十四号 館山市附属機関設置条例等の一部を改正する条例の制定について

質疑応答

○ 二五番 (田村源治郎君) 館山市の市道舗装推進協議会とあるけれども、大体題目ですが、現在道路は舗装ばかりではなく、いわゆる陸橋とかトンネルというものの付随があるけれども、ただ舗装の近代化という諸問機関だけで、

それらの問題をどうして将来考えていくか。陸橋、トンネルそれらの問題は一切やらずに舗装だけの諮問機関か、道路全般にわたるものであるのか、それらの点を一つ説明していただきたい。

○ 市長（本間譲君） ただいま田村議員さんから御質問でございますが、これはここに書いてございますように、市道を四年間に全線舗装をしよう。こういう趣旨のもので、それにつきまして学識経験者を選んで検討して答申を願おう。こういうわけでございまして、トンネルとか陸橋とか、こういうことは入っておりません。現在のところでは、陸橋とかトンネルというものは、大体県のほうでやつておりまして、市道としては今考えておらないわけですが、考えるというよりも少ないんじゃないかと思ひまして、道路の全線舗装、こういうことだけでございます。

○ 二五番（田村源治郎君） 今、市長が言われた舗装だけを考えておる。道路によつては陸橋もつくらなければならぬものもあるだろうと思うけれども、大体舗装すると交通に対する自動車の速度が早く、ひんぱんに自動車がかかる。どうしても子供、児童に対してつくつてもらわなければならぬものもある。もちろん現在の旧道路では狭ま過ぎる。そこに舗装されるとスピードが出てあぶなくて人が通れない。自動車がとばす。どうしても肝心なところだけはそういう陸橋とか、トンネルをやる気があるのかないのか、市長さんはそういう場合に必ずやる意思があるのかないのか、お聞かせ願ひたいと思ひます。

○ 市長（本間譲君） 今のところは、そういう計画も、考えもございませんけれども、そういう必要の時点ができましたならば、その際に検討いたしたい、こう考えております。

○ 二五番（田村源治郎君） 了解。

○ 二〇番（中村省吾君） この審議会の課程と申しますか、性格と申しますか、そういう点でちよつと伺ひたいと思ひますけれども、この審議会が設置されますと、まず当然土木課において原案を作成し、その原案を諮問するという形

になるだろうと思います。そうしますと、その諮問されましたものが、その審議会において全面的賛成を得たとする。したがって、諮問されたことが賛成だからということで、執行部のほうではそれを予算化してくる。その予算化されたものを私ども議会においてかけられる。一体その場合に私どもがこういう舗装促進審議会というものを承認して条例までつくつて、その人たちの承認した形になつておる。そういう中で、その推進協議会を通つたものに対して、議会の立場で全面これをくつがえしても、これはできるわけですが、そういう中で何かギャップが生じはしないかという気がしてならない。特にこの舗装化という問題になりますと、なお予算を編成する上においては、当然これは土木課においてはどこそこの道路と、たとえば六軒町の道路とか、また西岬の道路とかいうことで、大体これぐらいの見積りなんだ。そのようになろうと思います。そうした場合に当然そうしますと、順位というものも原案の中にはある程度作成されておるわけです。その中でそういったものを諮問にかけて審議した場合に、審議委員というものは、そういう順序でいいのか、かわるのか、これが一番の骨になつてくるのではないかと思います。どこどこ地域代表ということで出ておりますので、自分のところをまずやつてもらいたいというのが、これが人情です。したがって、そういう中で一つの紛糾も起きるだろうし、そうした過程で賛成だということになつても、私どもが審議する議会と食い違つたことがそこに生ずる憂いがないかどうか、そういう関係のことをもう少し御説明願いたいと思います。

○市長（本間譲君） 審議会につきましては、市のほうで、土木のほうで大体計画を立てまして、それを一応審議会の方々の意見を聞きまして、またときによりましては、こうしてもらいたい。あおしてもらいたいということがあると思いますが、これが妥当であればそのように変更しますし、そうして決定したものを建設委員会にかけまして、建設委員会のほうでよく御審議いただきまして、そうしてこれは大きな問題でございますから、できれば全員協議会でよく検討して、そしてまとまれば議会に提案する。こういう順序であくまでも議員の方々は最高の機関でございますから、そ

の場合中村さんおつしやるようにある程度修正でも私はいいと思います。また賛成されるようなことになるかもしれませんが、それはそれでけっこうだと思いますが、やはり地方の方々の意見を聞くということも大事であるわけでございまして、こういう機関を設けていくことになるわけでございますが、それには道路が狭いところはある程度幅を広げたり、それについての用地を買収するような場合もできるでしょうし、それから負担金の問題についてもまたいろいろ心配もしていただくという面がございますので、こういう審議会の方々には特にその点を具体的の実行面についてお手伝いを実はお願いしたいと考えておるわけでございます。

○ 二〇番 (中村省吾君) 大体了解いたしました。してみますと、この審議会にかける、あくまでもこれが自分の地域代表という意味で十分争いにならないように、特に諮問にかける場合にその点十分留意していただきたいと思ひます。市長今、後段でお話の中である程度納得いく面もございますのでわかりますが、この審議会が何度も言うように順位争いというものにおちいらぬようによく注意して、あと地域においてその舗装に協力する。その面についての活用を特に望んで了解いたします。

○ 議長 (西村真次君) 他に御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

採

決

○ 議長 (西村真次君) おはかりいたします。本案を討論省略採決するに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。

おはかりいたします。本案を原案の通り可決するに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案の通り可決されました。

議案の上程

○議長 (西村真次君) 日程第六、議案第七十五号市道路線の変更についてを議題といたします。

議案第七十五号 市道路線の変更について

○議長 (西村真次君) 御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

採決

○議長 (西村真次君) おはかりいたします。本案を討論省略採決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。

おはかりいたします。本案を原案の通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案の通り可決されました。

議案の上程

○議長 (西村真次君) 日程第七、議案第七十六号損害賠償の額を定めることについてを議題といたします。

議案第七十六号 損害賠償の額を定めることについて

○議長 (西村真次君) 御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

採決

○議長 (西村真次君) おはかりいたします。本案を討論省略採決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。

おはかりいたします。本案を原案の通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案の通り可決されました。

議 案 の 上 程

○ 議長 (西村真次君) 日程第八、議案第七十七号昭和四十四年度館山市一般会計補正予算第五号を議題といたします。

議案第七十七号 昭和四十四年度館山市一般会計補正予算(第五号)

○ 議長 (西村真次君) 御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

採 決

○ 議長 (西村真次君) おはかりいたします。本案を討論省略採決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。

おはかりいたします。本案を原案の通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案の通り可決されました。

議案の上程

○ 議長 (西村真次君) 日程第九、議案第七十八号乃至議案第八十二号を一括して議題といたします。

議案第七十八号 昭和四十四年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

議案第七十九号 昭和四十四年度館山市簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)

議案第八十号 昭和四十四年度館山市と畜場特別会計補正予算(第一号)

議案第八十一号 昭和四十四年度館山市休養施設特別会計補正予算(第二号)

議案第八十二号 昭和四十四年度館山市館山ユース・ホステル特別会計補正予算(第二号)

○ 議長 (西村真次君) 御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

採決

○ 議長 (西村真次君) おはかりいたします。本案を討論省略採決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。

おはかりいたします。本案を原案の通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案の通り可決されました。

閉 会

○ 議長 (西村真次君) おはかりいたします。以上をもちまして、本定例会に付議されました議事案件はすべて

議了されました。よつて会議規則第七条の規定により、本日をもつて第四回市議会定例会を閉会いたしますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (西村真次君) 御異議なしと認めます。よつて本定例会はこれにて閉会と決定いたしました。

午前十時三十八分 閉 会

○ 本日の会議に付した事件

一、認定第一号乃至認定第七号

一、決算審査特別委員会の設置及び委員の選任

一、議案第七十一号乃至議案第八十二号

地方自治法第二百二十三条第二項の規定により署名する。

館山市議会議長

議員

議員

西村喜次
田中保治郎
吉田芳治

